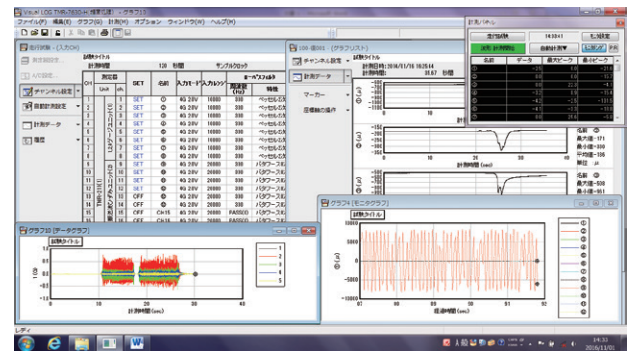


# TMR-7630 (動的計測・データ処理)

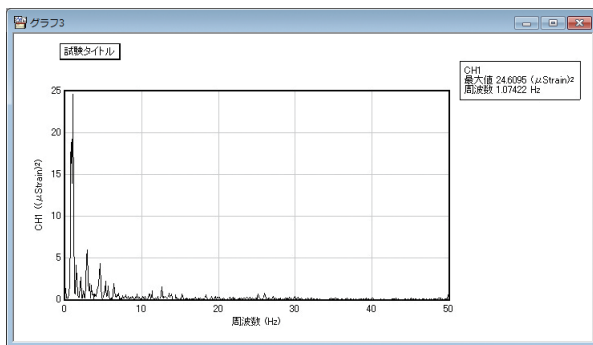
- サンプル中にリアルタイムにグラフ表示
- 計測条件・設定とデータの一元管理
- 測定データによる演算拡張チャンネルは1000点可能
- 異なる計測データファイルのデータをグラフで重ね描き可能
- 波形、数値、X-Yなどのモニタグラフ、履歴グラフ、スペクトルグラフ、頻度グラフも追加した様々な様式のグラフ表示
- メモリカードのデータファイルを自動削除、容量に関わらず計測続行可能
- インターバル、データトリガ、外部トリガ、フリーラン、データコンパレータ、プログラムなどの計測による自動データ収録が可能
- データトリガ計測、フリーラン計測またはプログラム計測をオフラインで可能
- パソコンに装着したメモリカードからもデータの選択、取得可能
- データのテキストファイル変換はCSV形式やDADiSP互換形式にも対応



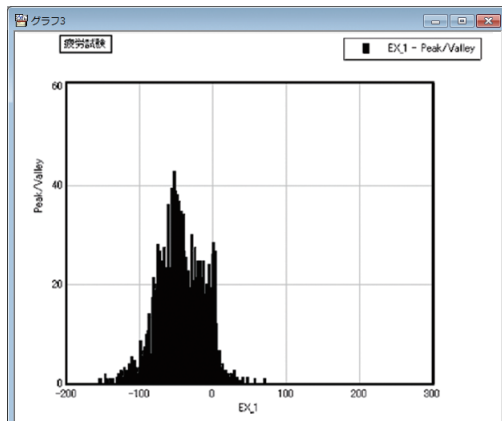
マルチレコーダ計測・データ処理ソフトウェア TMR-7630

本ソフトウェアはマルチレコーダー TMR-200/300シリーズを用いて多チャンネルの動的計測・データ処理をおこなうソフトウェアです。コントロールユニットTMR-211またはTMR-311を4台接続し、最大320chを同時に制御します。サンプル中にリアルタイムに波形表示できるので、動的波形を確認しながら測定ができます。計測条件・設定とデータを一元管理することで同一起動画面上で設定内容と計測データを確認することが出来ます。データのテキストファイル変換はCSV形式やDADiSP (ディ・ディスプ) 互換形式にも対応しています。また、作成グラフはBMP、EMF、PNG形式への保存にも対応しているので報告書の作成だけでなく市販のソフトウェアでの読み込み、再加工もできます。TMR-311/-211のオプション頻度処理ライブラリ (TMR-311-01/TMR-211-01) に対応、リアルタイムで頻度処理が可能。

## スペクトルグラフ



## 頻度グラフ



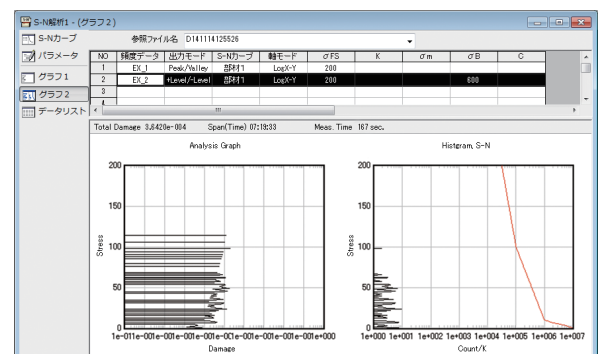
コントロールユニットに頻度解析ライブラリ (TMR-311-01/TMR-211-01) を搭載時は、TMR-7630/-7630-M/-7630-Hで収録された頻度データの作図が可能です。

## 動作環境

OS	Microsoft Windows 7(SP1)/8.1/10/11
パソコン	上記OSが推奨するスペック以上 CDドライブとUSBポート、LANインターフェースを用いる場合はLANポートを有する機種
インターフェース	
LAN	100BASE-TX、無線LAN (TMR-311のみ)
USB	USB 2.0
プロテクトキー	USB dongle

## オプション

- S-N解析グラフ (TMR-7630-H)



# TMR-7630 (動的計測・データ処理)

## 仕様

対応測定器	TMR-311, TMR-211
同時使用可能な測定器の台数	コントロールユニットTMR-311/-211最大4ユニット コントロールユニットに接続可能な入出力ユニット1台当たり最大10ユニット (合計320点)
最大演算データ項目数	最大1000点
計測プロジェクトの設定	計測プロジェクトは計測をおこなう設定と計測結果を一元的に管理できます。測定器設定、A/D設定、チャンネル設定、自動計測設定などを管理
測定機器設定	使用する測定器の選択とインターフェースの設定
A/D設定	データ数とサンプリングクロックによりA/D変換の設定
チャンネル設定	
入力チャンネル	SET、名前、入力モード、入力レンジ、ローパスフィルタ、ハイパスフィルタ、バランス、基準接点、係数、定格出力、容量、シフト、単位、フォーマット、アラーム、オプションデータ
出力チャンネル	入力チャンネル、出力電圧、入力値、定格出力、校正値
頻度NO※	入力チャンネル、解析方法、フルスケール、ヒステリシス、サンプリング/クロスレベル、スライス ※ (頻度処理をおこなうためには、測定器本体に頻度処理をおこなうための機能 (オプションTMR-311-01/TMR-211-01) が搭載されている必要があります。)
拡張チャンネル	名前、関数、単位、フォーマット、アラーム、オプション
自動計測設定	
データトリガ計測	トリガレベル (物理量)、トリガモード (相対/アッパー/ロー)
プログラム計測	計測開始日時、計測時間、休止時間、計測回数
インターバル計測	計測開始日時、計測間隔、条件
データコンパレータ計測	名前 (CH/NO)、変化量、条件
計測データ	データリスト、グラフリスト
履歴	計測履歴、最大最小平均値、頻度履歴
保存、読み込み	計測プロジェクトの保存、読み込み
印刷	計測プロジェクトの印刷

## 計測

バランス	センサのゼロ調整 (任意のチャンネル選択可能)
計測モード設定	ノーマル、モニタ、フリーラン、データトリガ、インターバル、データコンパレータ、プログラム計測
オフライン計測	フリーラン計測、データトリガ計測、プログラム計測実行後に本ソフトウェアを終了し、オフラインの計測が可能
計測データの保存	計測データ (波形データ) は保存した計測プロジェクトファイルと同じ場所に、計測プロジェクトファイル名に_DATAを追加したデータ保存用フォルダ内に自動記録
データ処理	
作表	計測データをスプレッドシート表示
作図-グラフ	モニタグラフ、データグラフ、頻度グラフ、履歴グラフ、スペクトルグラフ、スケールの変更および自動スケール機能
データファイルの処理	
データの編集	任意に編集
データ切り出し	カーソルで必要な部分のみ切り出し
データ間引き	任意のステップで間引き
データ変換	テキストファイルに変換 (CSV、DADISP互換テキスト)
印刷	表形式またはグラフリストで結果を印刷

## オプション

TMR-7630-H (頻度処理) 計測した動的波形を後処理で頻度解析をおこなう。拡張チャンネルの頻度処理や、S-N解析も可能。

TMR-7630-M (動画とデータを同期再生) 計測と連動してDirectX対応カメラの動画を保存し記録データと動画を同期して再生します。

## システムブロック図

